



令和5年1月18日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済(令和5年1月号)」

国土交通省では、「国土交通月例経済(令和5年1月号)」を発表したのでお知らせいたします。

概況は、別紙のとおりです。なお、詳細につきましては、以下の URL よりご覧ください。

建設分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r05/01/construction_menu.html
交通分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/transport/transport_menu.html

本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

国土交通月例経済は、建設分野や交通分野の統計をはじめ、事業者や関係団体が公表している様々なデータの中から、主要な項目をまとめて毎月公表しています。

問い合わせ先

総合政策局情報政策課 中村、野村

TEL:(03)5253-8111(内線:28414)

総合政策局情報政策課建設経済統計調査室 宮田

TEL:(03)5253-8111(内線:28631)

国土交通月例経済（令和5年1月号）概況

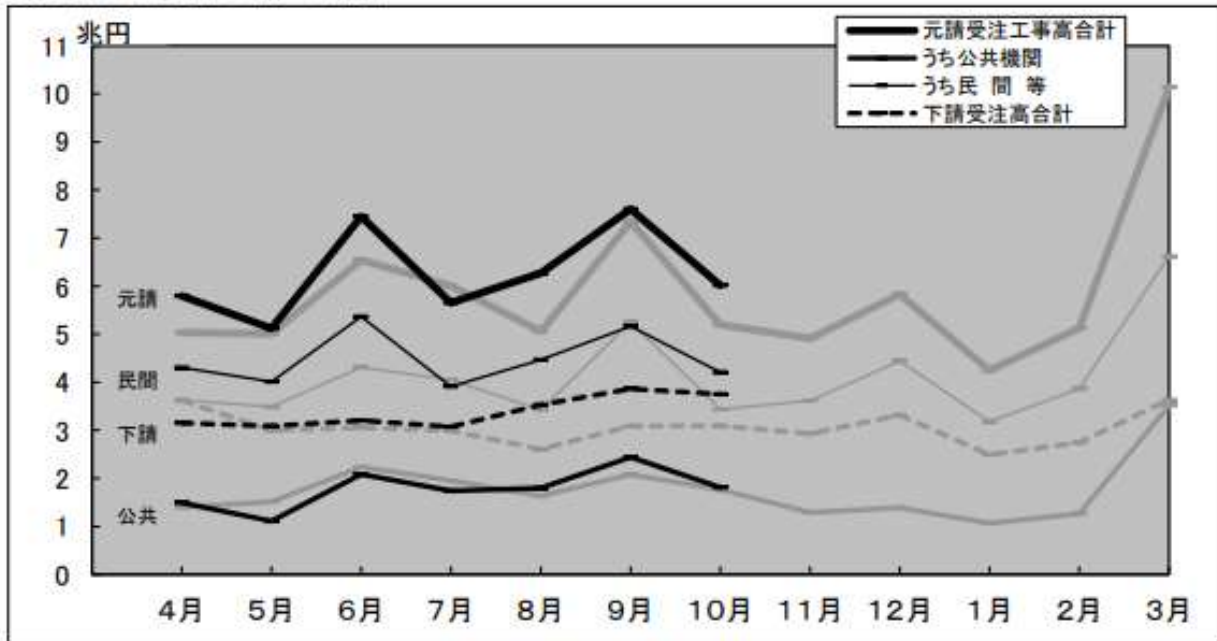
I 建設分野

1. 建設工事の受注高

10月の受注高は9兆7,654億円で、前年同月比17.8%増加した。うち元請受注高は6兆158億円で、同15.7%増加し、下請受注高は3兆7,496億円で、同21.2%増加した。

元請受注高のうち公共機関からの受注高は1兆8,082億円で、同2.5%増加し、民間等からの受注高は4兆2,076億円で、同22.4%増加した。

受注高の推移(令和4年度)



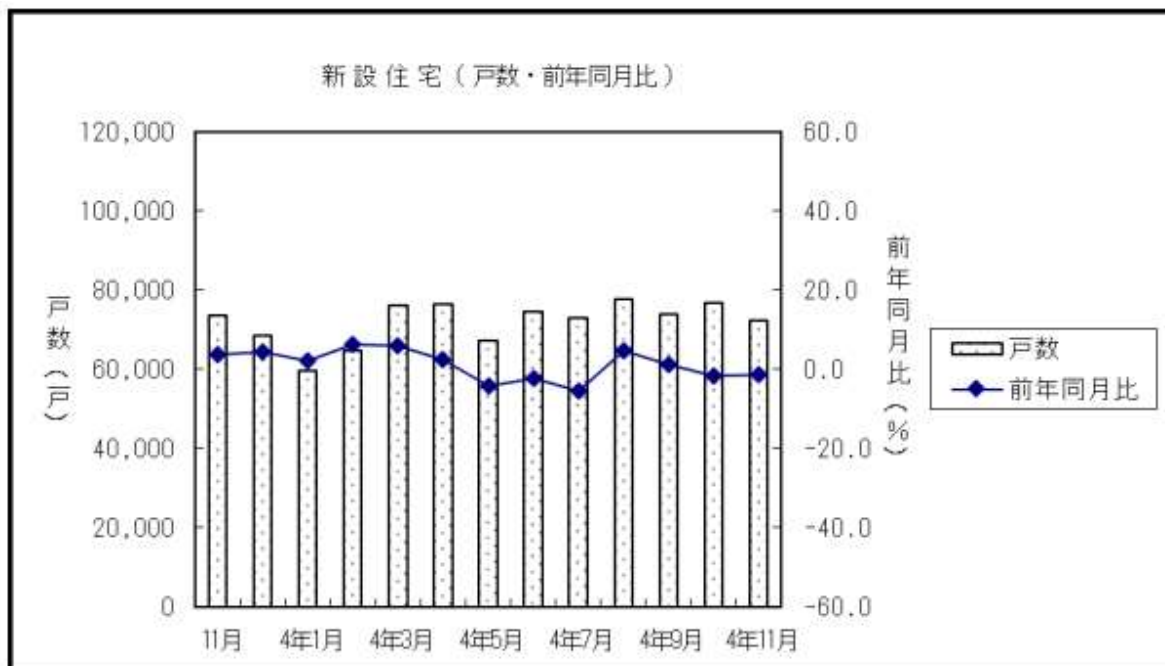
(グラフ中の淡色の線は、令和3年度の推移)

出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00600130&tstat=000001015811>

2. 住宅着工

11月の新設住宅着工は、貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比1.4%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比3.7%の減少となった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

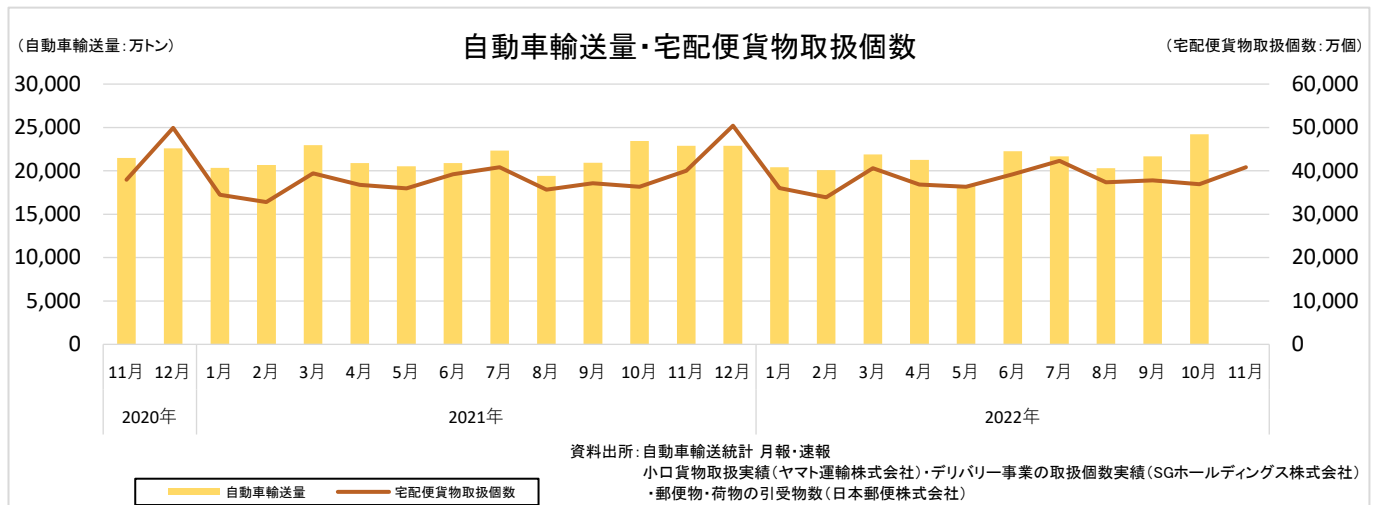
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600120&kikan=00600>

Ⅱ 交通分野

1. 貨物輸送

(1) 自動車

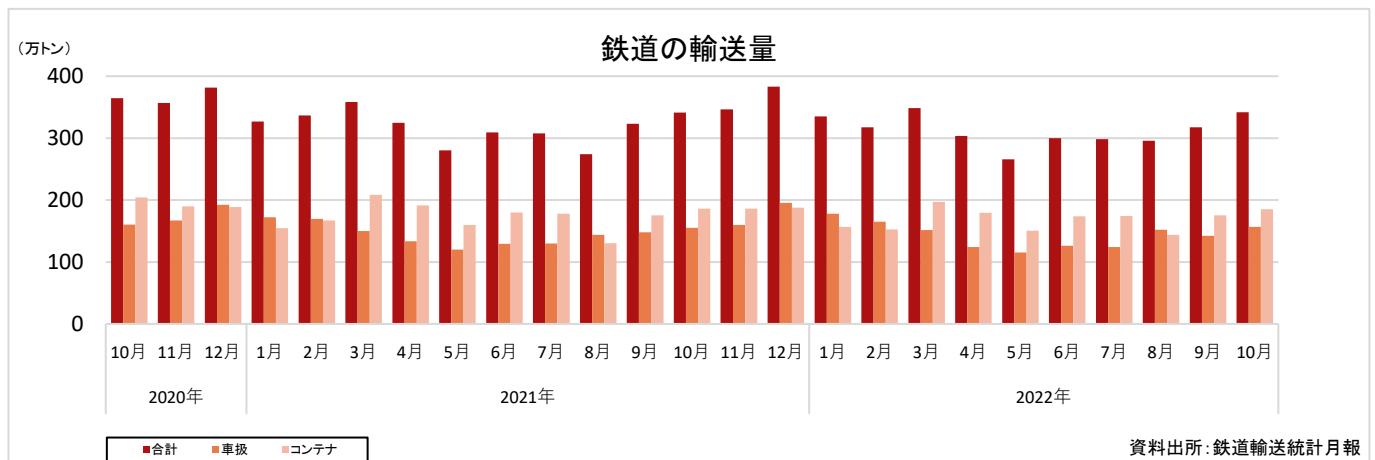
10月の自動車の輸送量は24,229万トン（対前年同月比3.3%増加）、11月の宅配便貨物の取扱事業者（大手3社）による宅配便貨物取扱個数は40,813万個（対前年同月比2.0%増加）となった。



(2) 鉄道

10月の鉄道の輸送量は342万トン（対前年同月比0.2%増加）となった。

そのうち、車扱は157万トン、コンテナは185万トンであった。

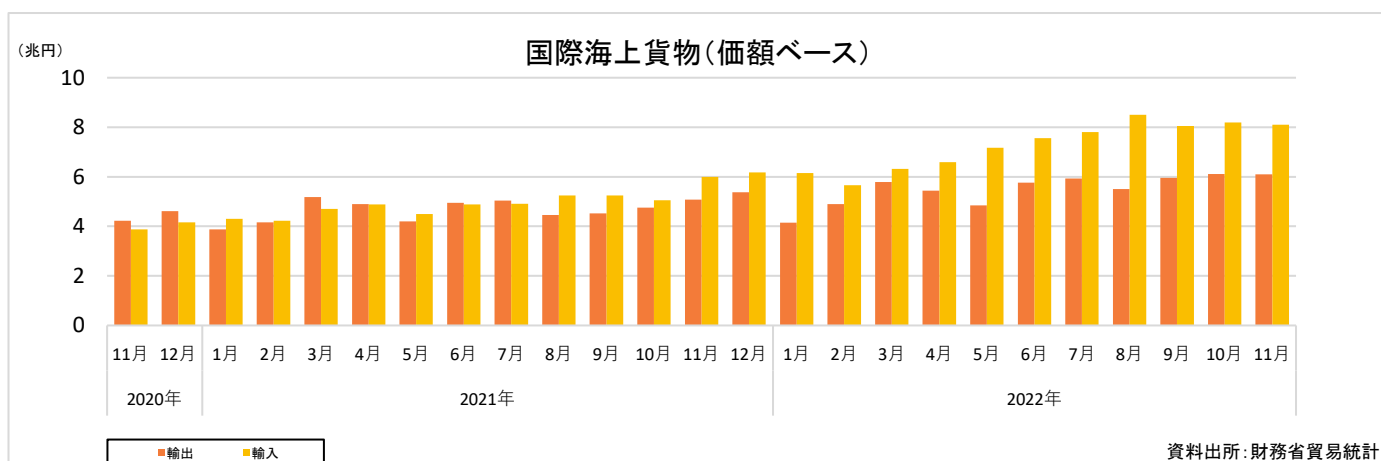
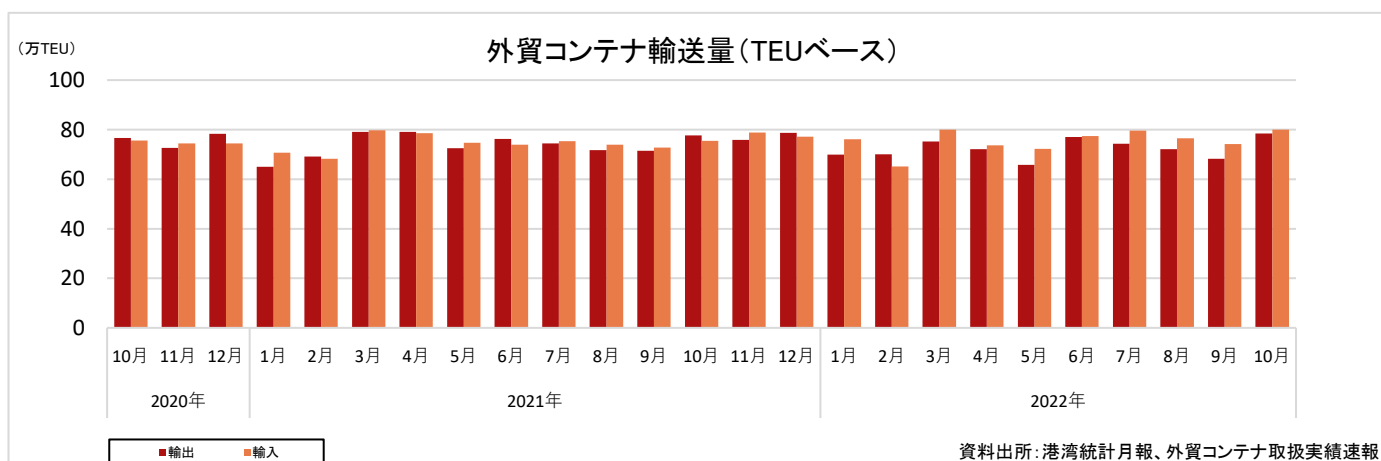
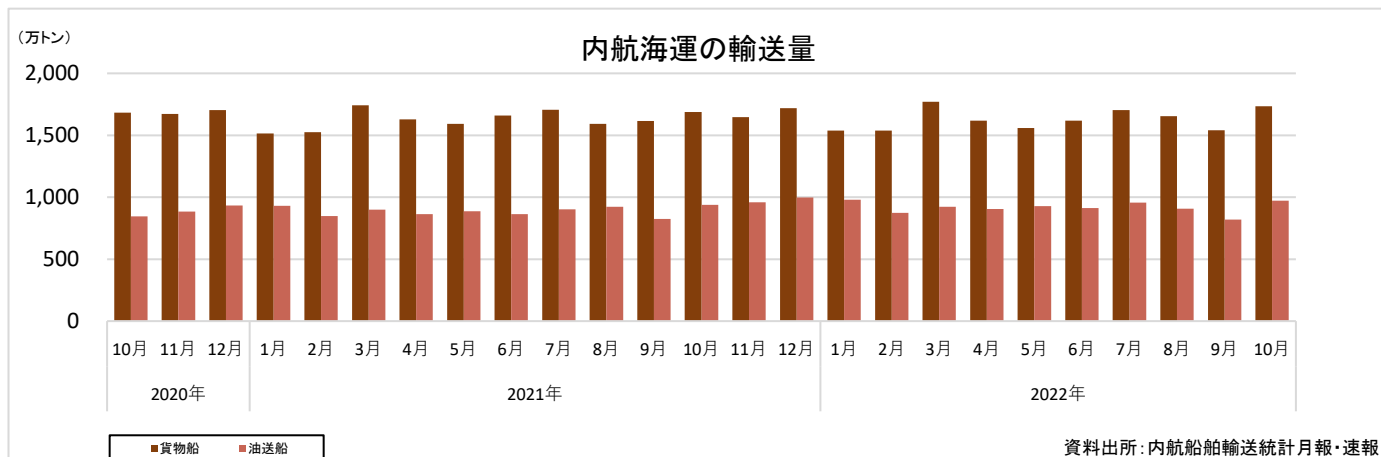


(3) 海運

10月の内航海運の輸送量は、貨物船1,736万トン（対前年同月比2.8%増加）、油送船972万トン（対前年同月比3.5%増加）となった。

10月の外航海運（外資コンテナ）の輸送量は、輸出78万TEU（対前年同月比6.0%増加）、輸入80万TEU（対前年同月比6.6%増加）となった。

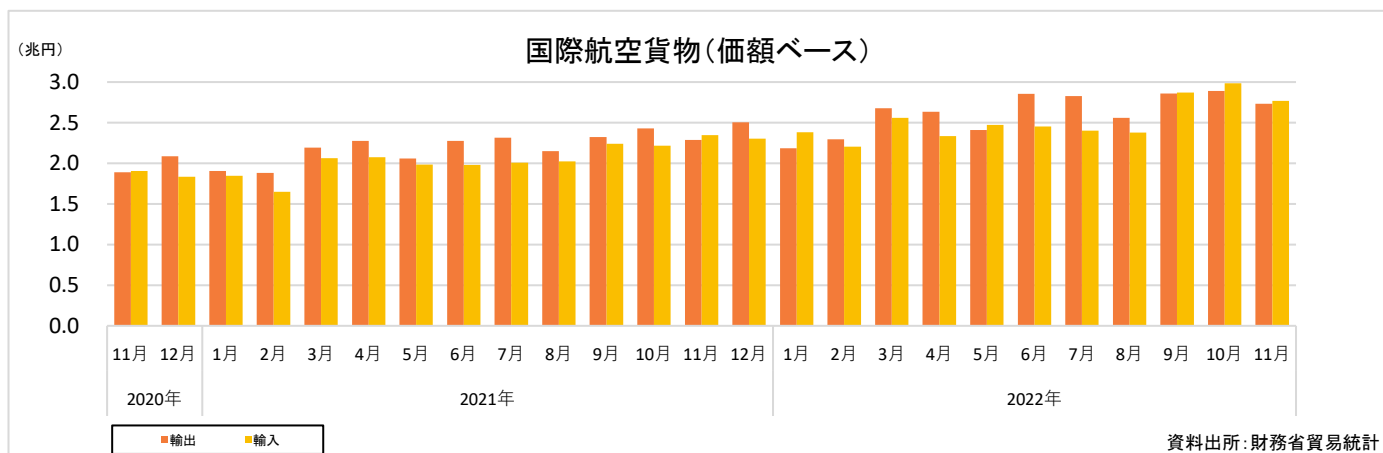
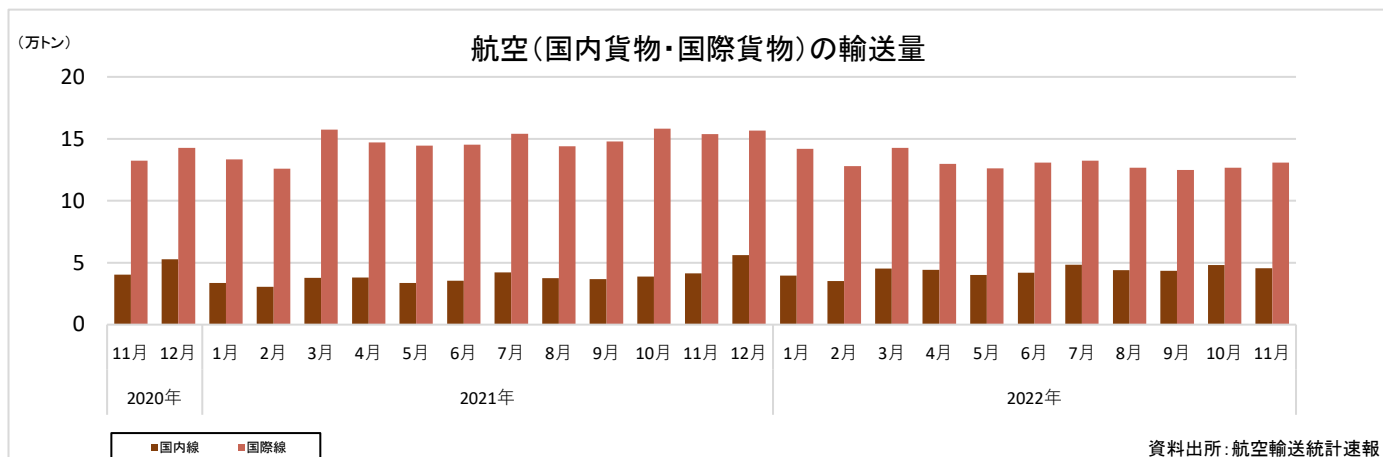
11月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出6.1兆円（対前年同月比20.1%増加）、輸入8.1兆円（対前年同月比35.1%増加）となった。



(4) 航空

11月の航空の輸送量は、国内線4.6万トン（対前年同月比13.6%増加）、国際線13.1万トン（対前年同月比21.1%減少）となった。

11月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出2.7兆円（対前年同月比19.6%増加）、輸入2.8兆円（対前年同月比18.1%増加）となった。

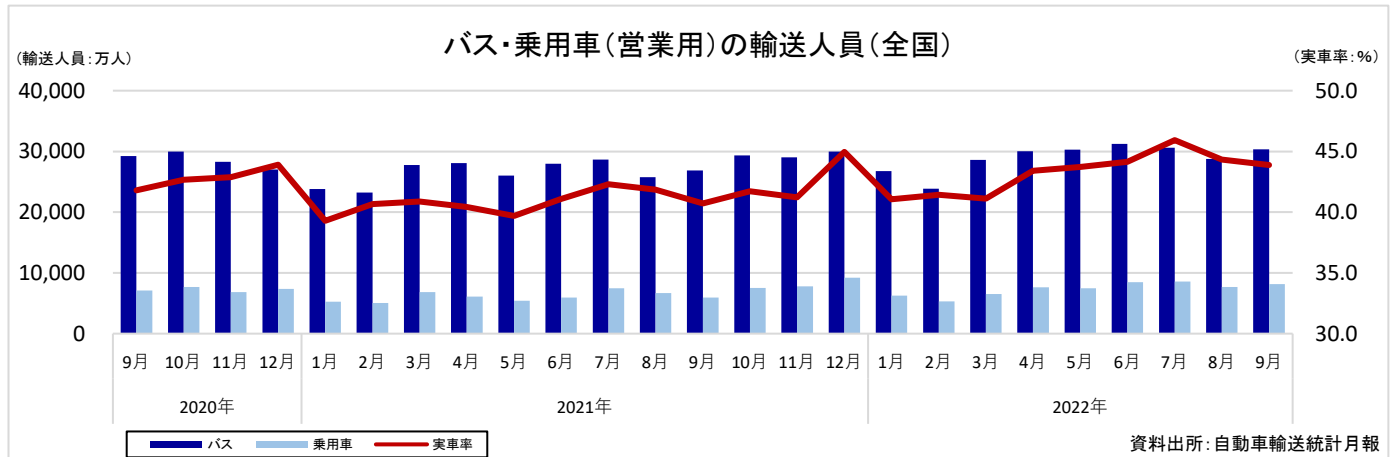


2. 旅客輸送

(1) バス・タクシー

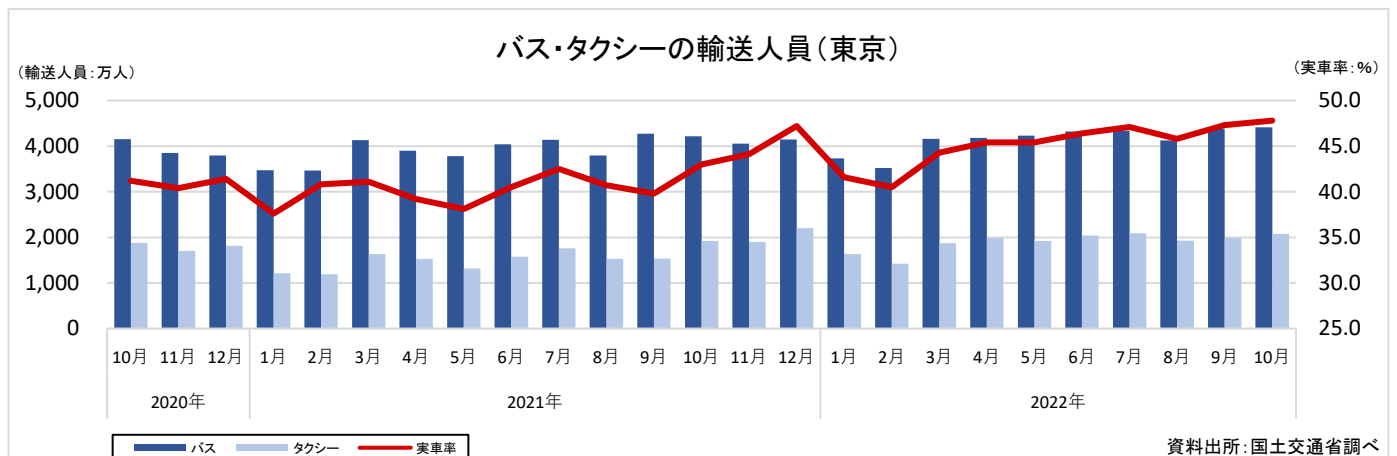
①全国

9月のバス（全国の乗車定員11名以上の乗合バス）の輸送人員は30,318万人（対前年同月比12.7%増加）、乗用車（全国の乗車定員10名以下の営業用乗用車）の輸送人員は8,146万人（対前年同月比36.8%増加）、実車率は43.9%となった。



②東京

10月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の輸送人員は4,410万人（対前年同月比4.6%増加）、10月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の輸送人員は2,073万人（対前年同月比8.0%増加）、実車率は47.8%となった。



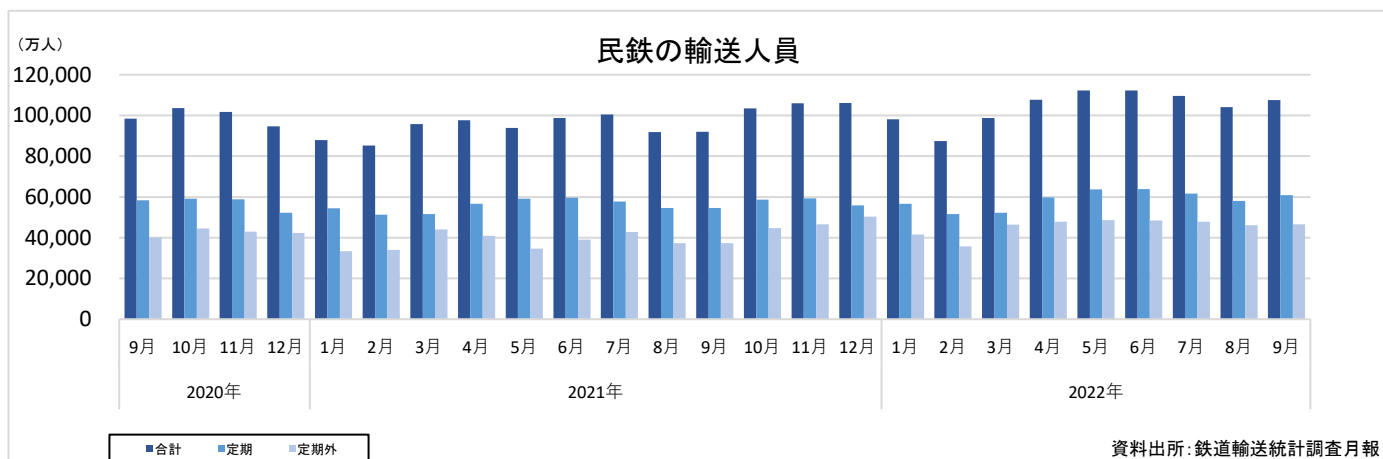
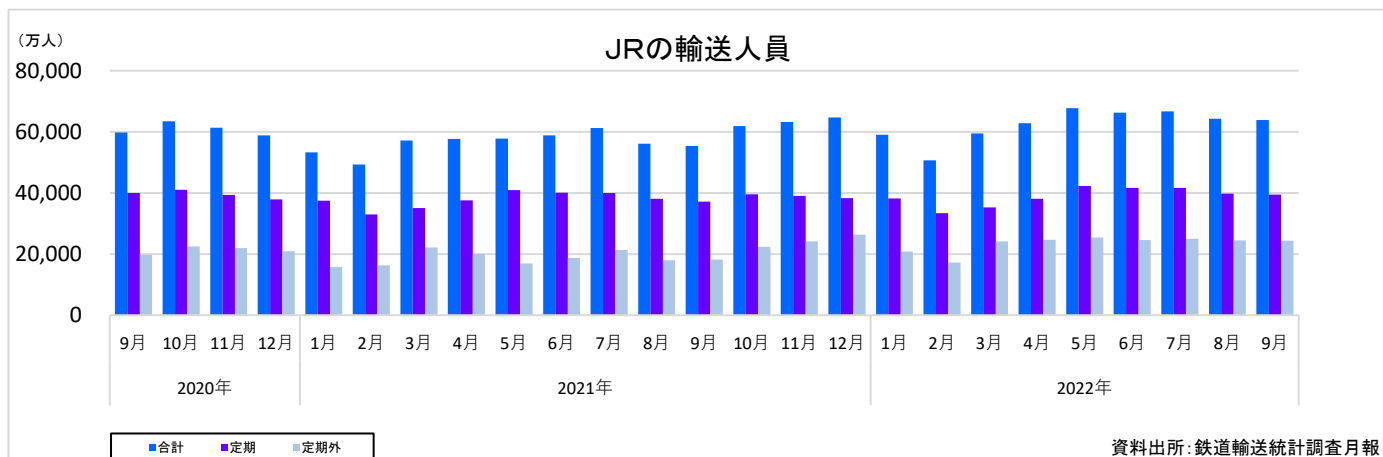
(2) 鉄道

9月のJRの輸送人員は63,844万人（対前年同月比15.3%増加）となった。

そのうち、定期は39,480万人、定期外は24,363万人であった。

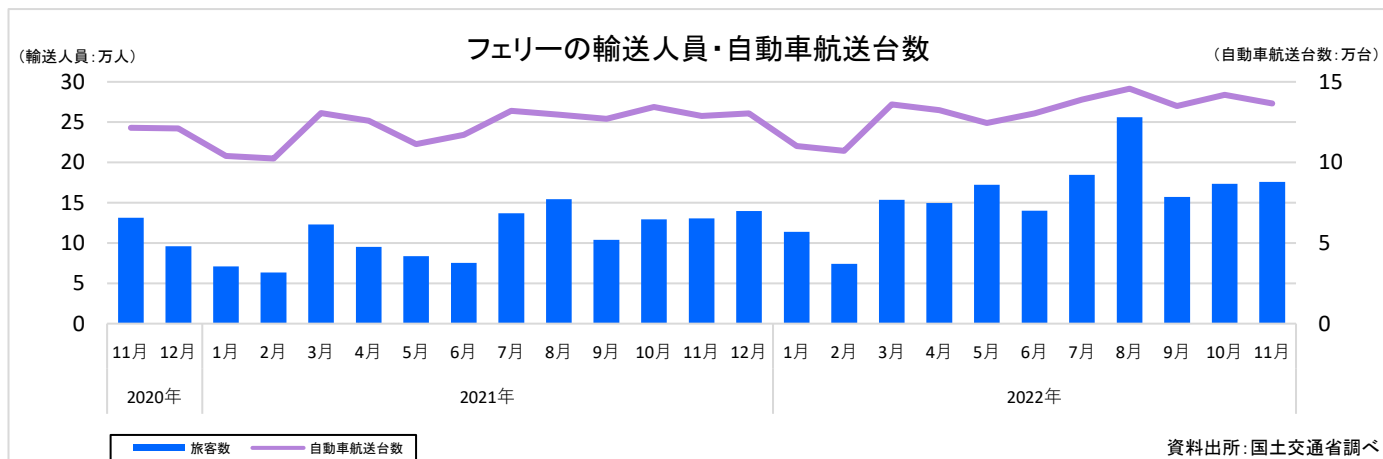
9月の民鉄の輸送人員は107,583万人（対前年同月比17.0%増加）となった。

そのうち、定期は60,927万人、定期外は46,657万人であった。



(3) フェリー

11月の長距離フェリーの輸送人員は18万人（対前年同月比34.6%増加）、自動車航送台数は14万台（対前年同月比6.0%増加）となった。

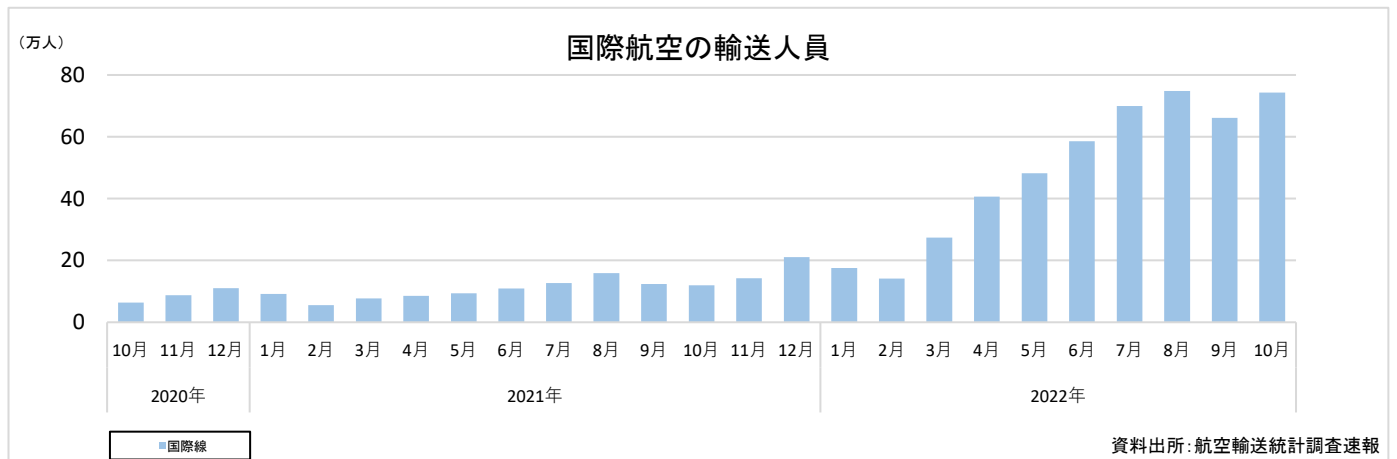
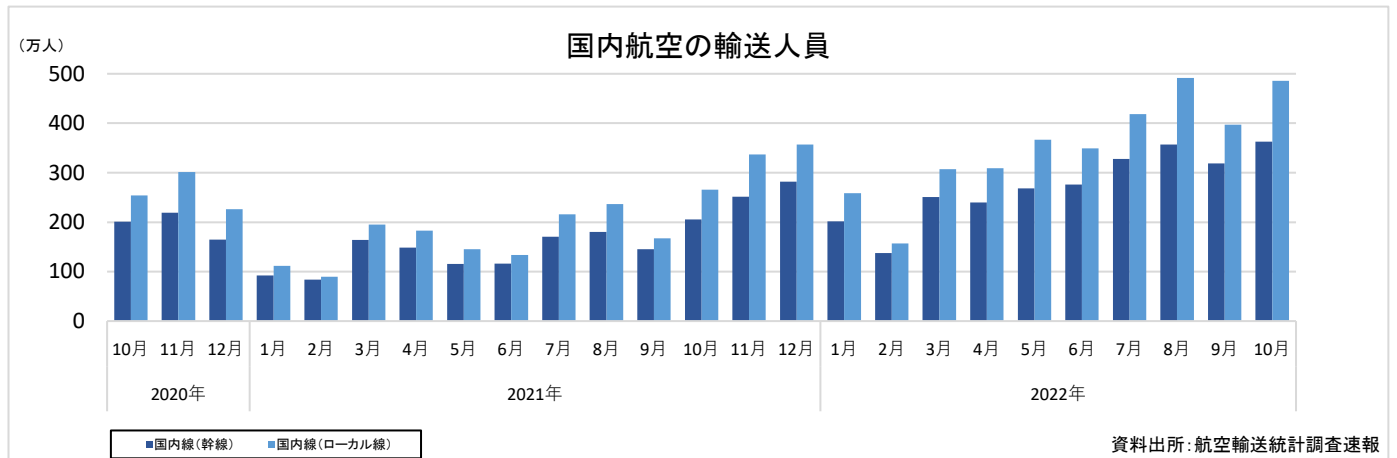


(4) 航空

10月の国内線の輸送人員は848万人（対前年同月比80.0%増加）となった。

そのうち、幹線は363万人、ローカル線は486万人であった。

10月の国際線の輸送人員は74万人（対前年同月比521.6%増加）となった。



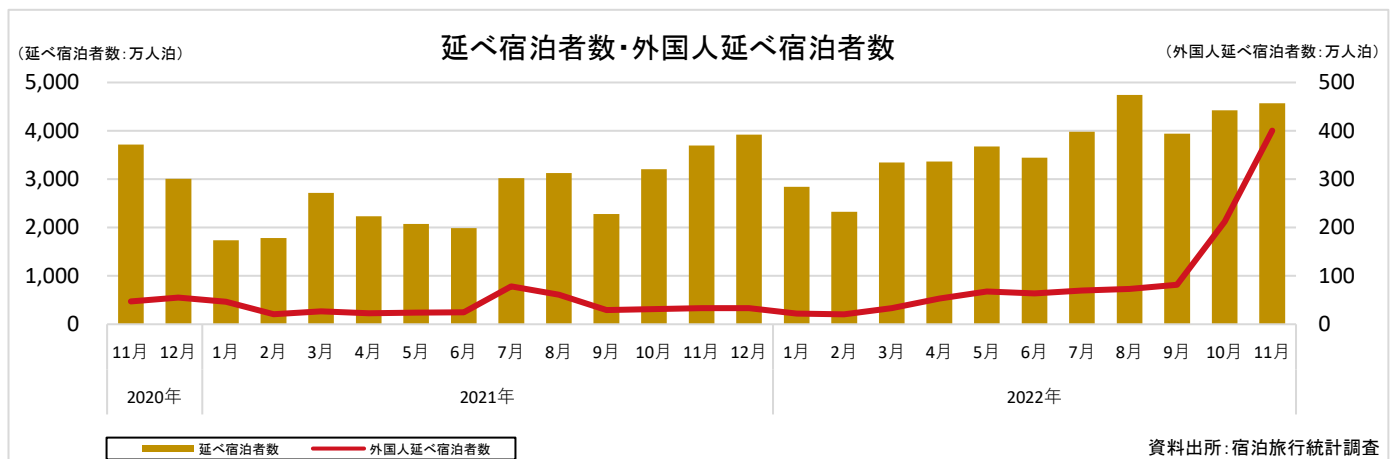
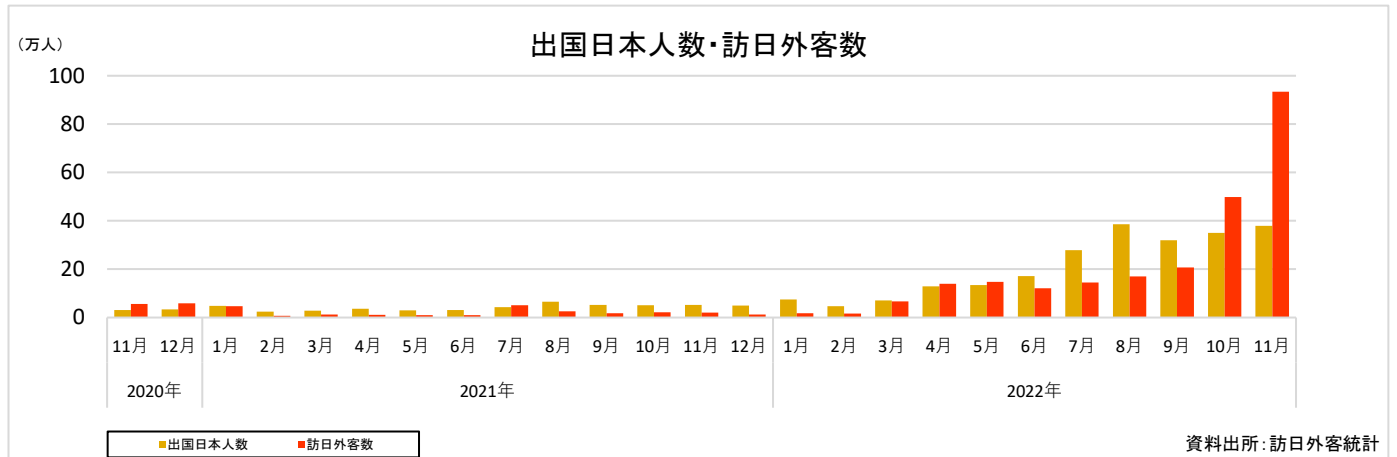
3. 観光分野

(1) 出国日本人数、訪日外客数、宿泊者数

11月の出国日本人数は38万人（対前年同月比632.4%増加）、訪日外客数は93万人（対前年同月比4,418.4%増加）となった。

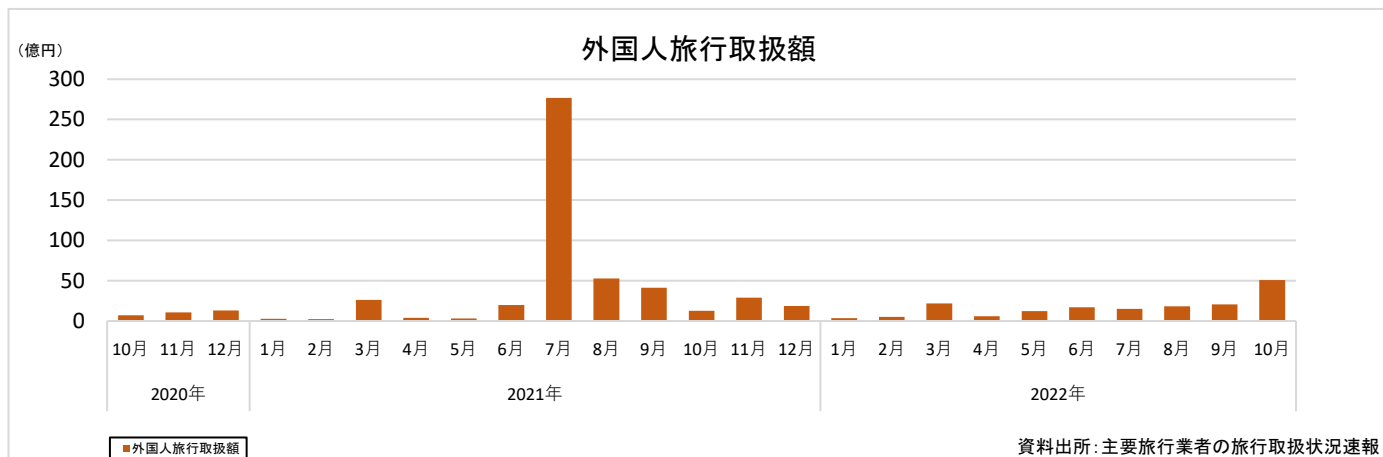
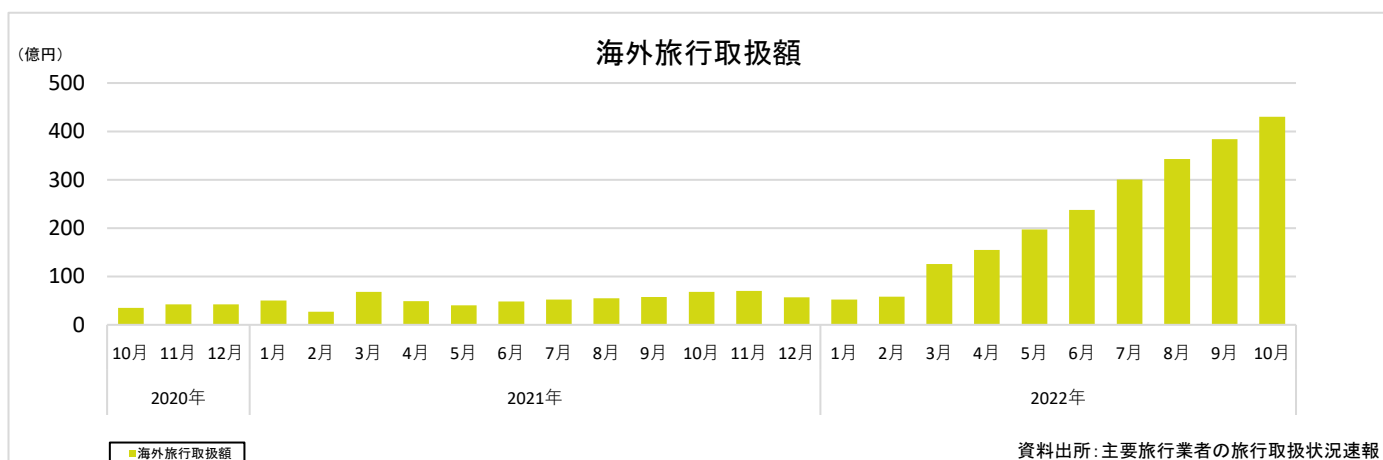
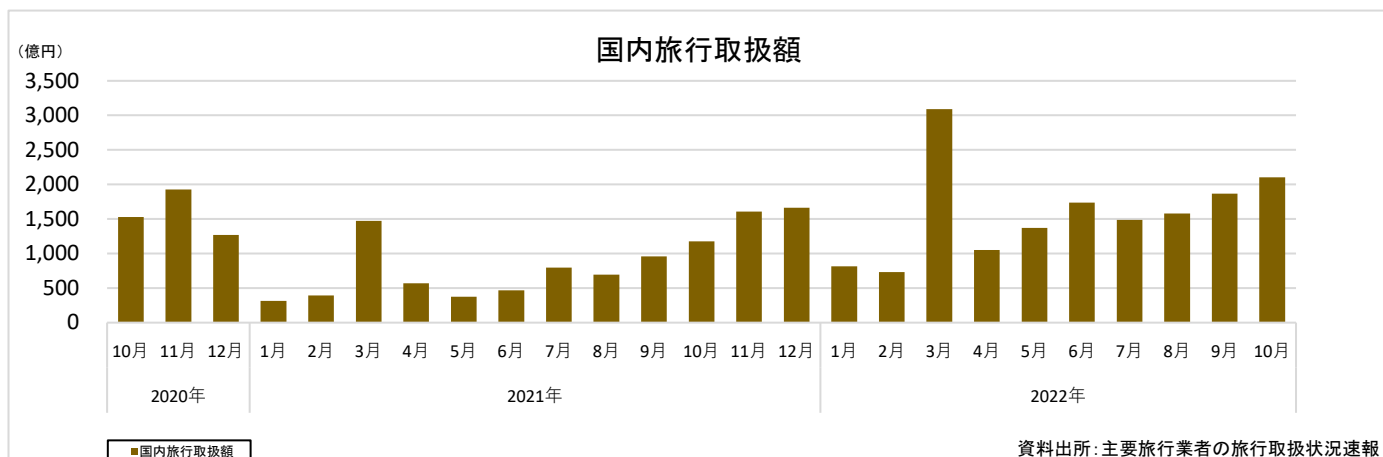
11月の延べ宿泊者数は4,570万人泊（対前年同月比23.7%増加）となった。

そのうち、外国人延べ宿泊者数は400万人泊（外国人シェア8.8%）であった。



(2) 主要旅行業者の旅行取扱状況

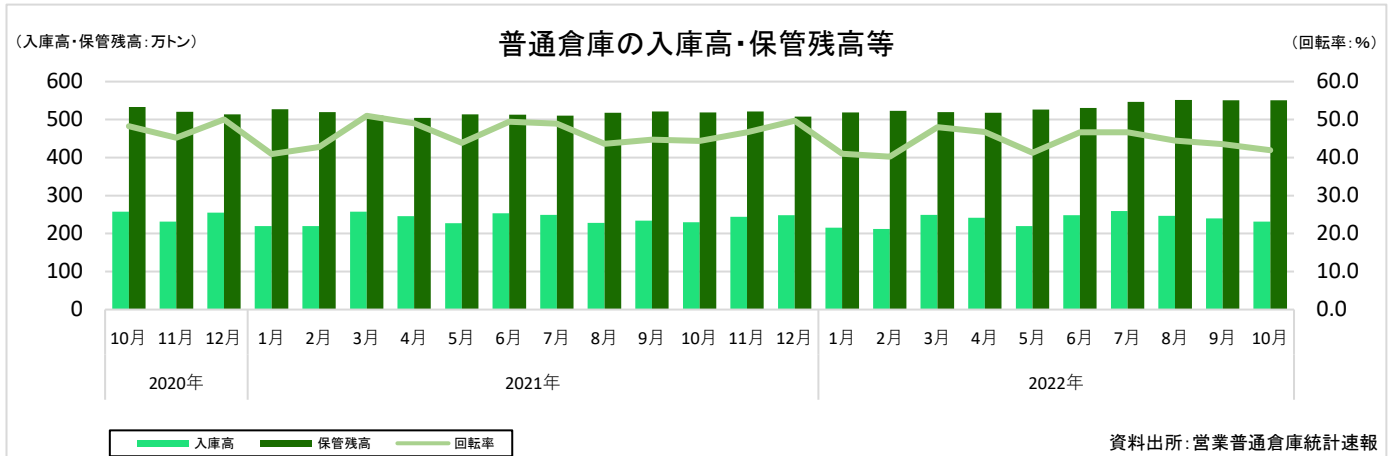
10月の主要旅行業者（45社）の取扱額は、国内旅行2,104億円（対前年同月比78.8%増加）、海外旅行430億円（対前年同月比531.0%増加）、外国人旅行取扱額51億円（対前年同月比303.9%増加）となった。



4. その他

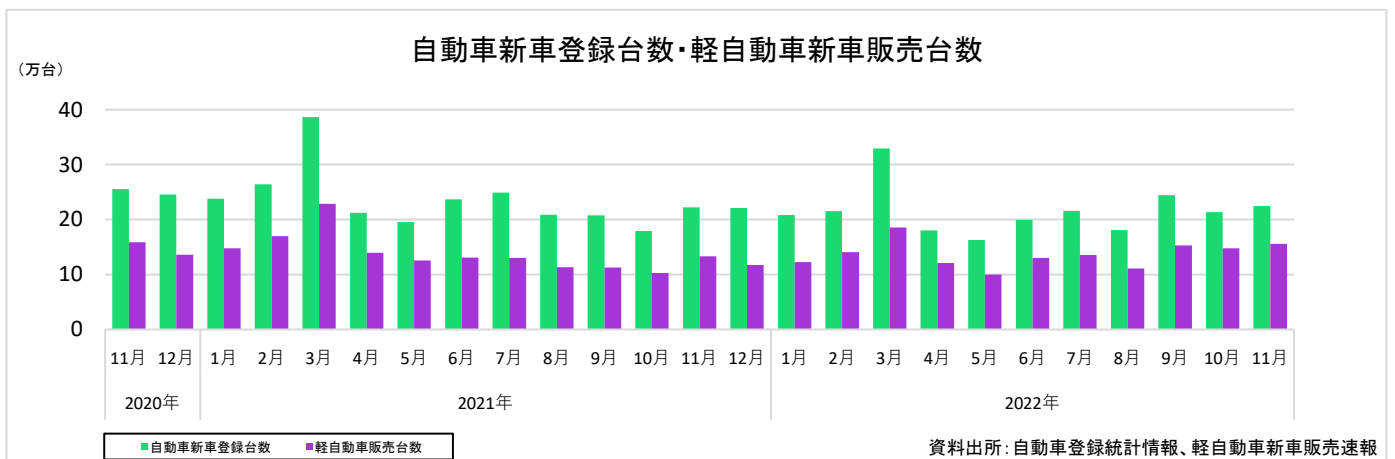
(1) 倉庫

10月の普通倉庫の入庫高は231万トン（対前年同月比0.6%増加）、保管残高は551万トン（対前年同月6.2%増加）、回転率41.9%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

11月の自動車新車登録台数は22万台（うち貨物車登録台数3万台、旅客車登録台数19万台）となった。
11月の軽自動車販売台数は16万台となった。



(3) 自動車保有車両数

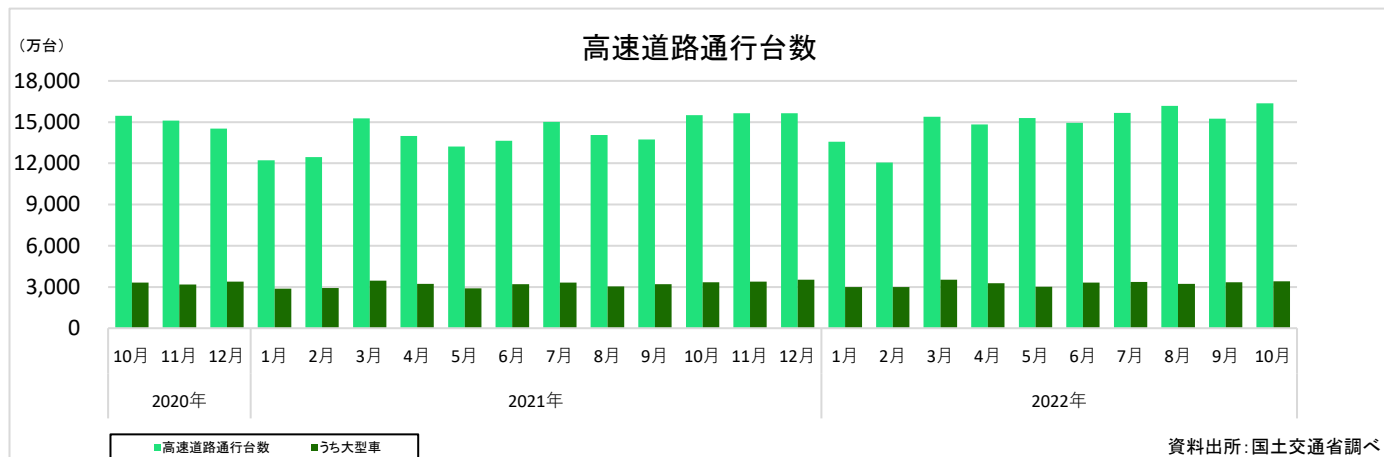
10月の自動車保有車両数は8,266万台となった。

(4) 高速道路通行台数

10月の高速道路通行台数は16,376万台（対前年同月比5.6%増加）となった。

そのうち、大型車通行台数は3,421万台であった。

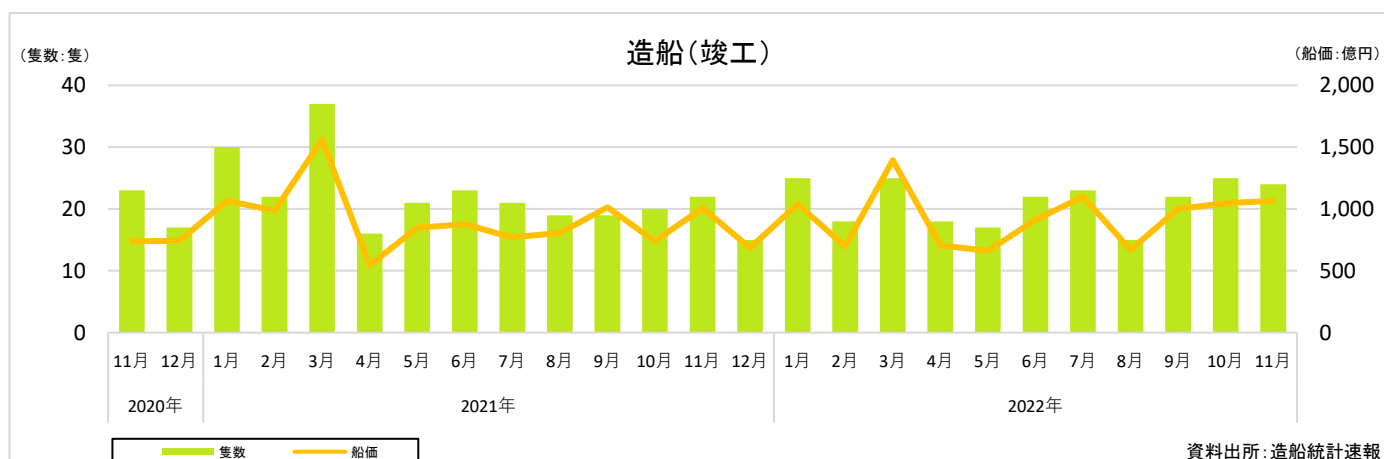
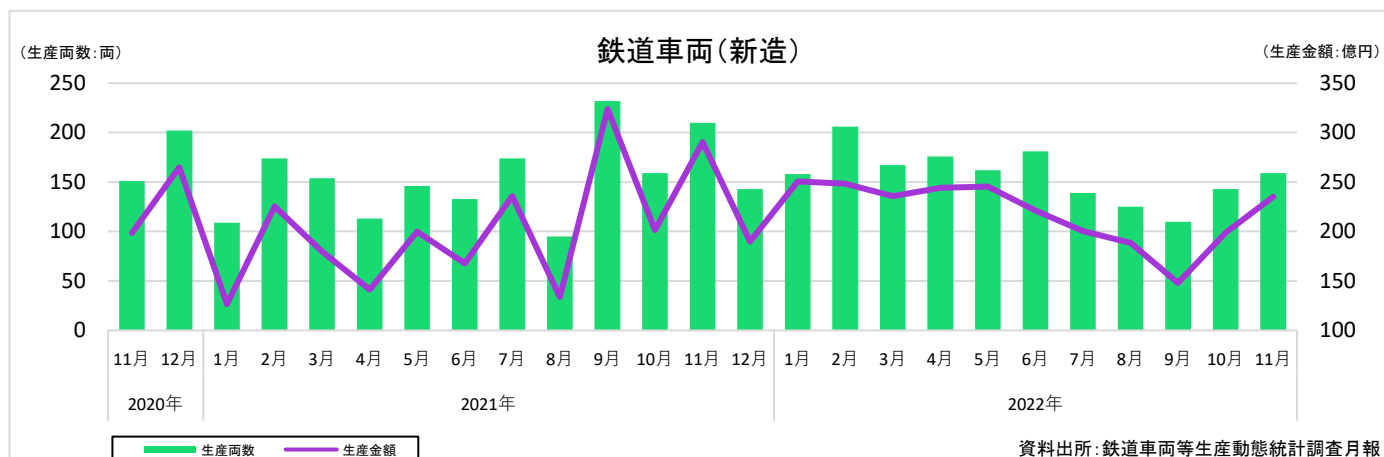
また、東名高速道路通行台数は1,301万台であった。



(5) 鉄道車両、造船

11月の鉄道車両（新造）の生産両数及び生産金額は159両、235億円となった。

11月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は24隻、856,807G/T、1,066億円となった。

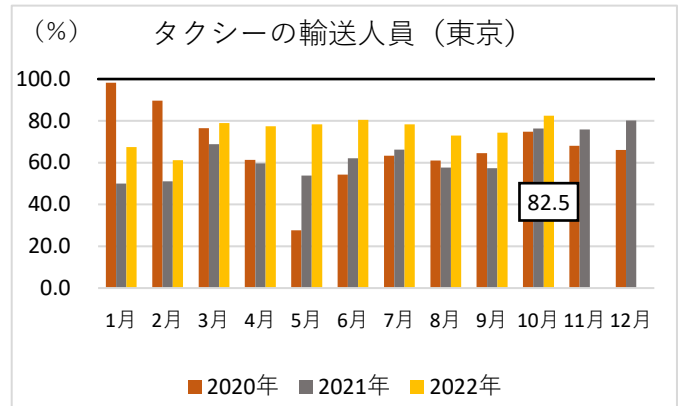
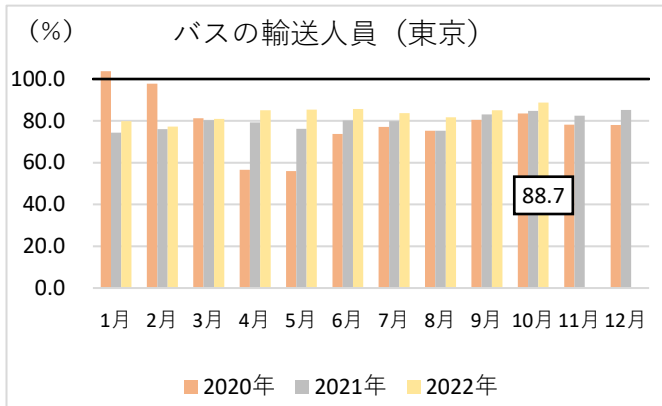


（参考）旅客輸送の対 2019 年同月比について

（１）バス・タクシー

10 月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10 社））の対 2019 年同月比は 88.7%となった。

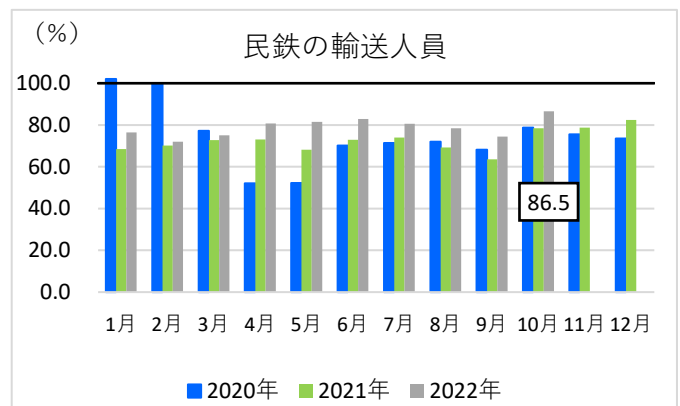
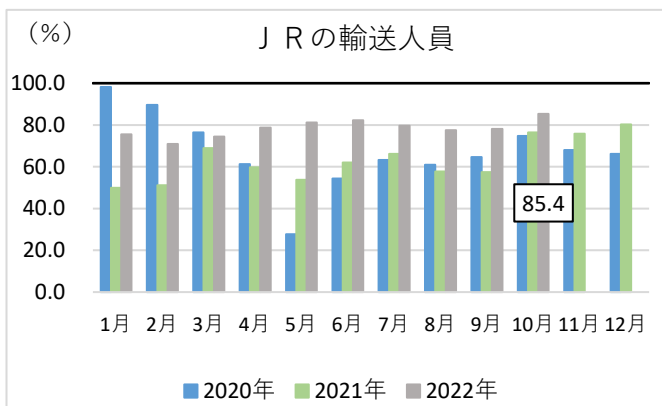
10 月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の対 2019 年同月比は 82.5%となった。



（２）鉄道

10 月のＪＲの対 2019 年同月比は 85.4%となった。

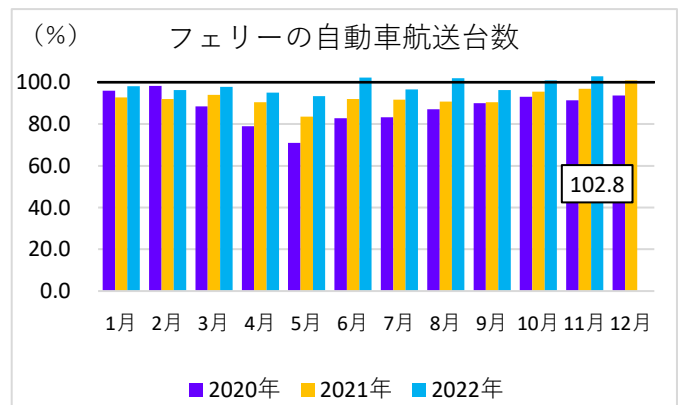
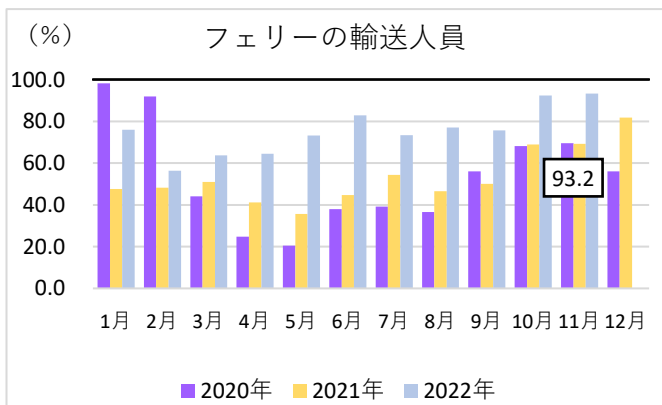
10 月の民鉄の対 2019 年同月比は 86.5%となった。



（３）フェリー

11 月の長距離フェリーの対 2019 年同月比は 93.2%となった。

11 月の自動車航送台数の対 2019 年同月比は 102.8%となった。



(4) 航空

11月の国内線の対2019年同月比は90.3%となった。

11月の国際線の対2019年同月比は48.4%となった。

